

精神科デイケアだより

みさとメンタルクリニック

2025年5月号

新たな自閉から就労訓練から多様な世界観へ

精神科医 田口純

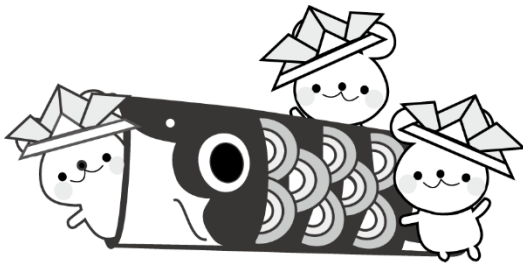
人はどんなかたちであれ食べて行ければどんな生き方をしても良いはずですが、いまの社会は、自助だけを強調して思いやりを欠いた世界の印象を持ちます。人の集まる場所で見られるのはスマホに目を落として他人との関わりを拒否する孤独でむなしい人の群れです。

何かの役割を果たすことよりもそこに居るだけで良いという、すべての価値観が尊重され、存在が丸ごと許される場所がデイケアというところだと思っています。

人々が集う場所ですからどうしても他人とのかわりが生じますが、でも、誰とも口をきかずに、奥のソファで読書に専念するというかわりもありです。気が向いたら、開催されるプログラムに参加する、という自在なかわりがここには許されます。参加の形はどんなものでも許される場所、そんなイメージです。それでもメンバーにインタビューすると、仲間と出会えて良かったと答える人がほとんどでした。どんな形であれ人とかかわることが生きているあかしであり、デイケアはそれを本人ペースで保障するゆるい場であることを証明するお話しのように私には思えました。

閉じこもりの解消にきたけれど結局デイケアの中でも閉じこもりに終わったとしても、家の外に出て他人とあいさつや目配せをかわすだけでも大きな進歩です。

もちろん、就労訓練の学習も、病気理解のための健康講座もあります。診察室の壁をときどき飾る、色とりどりのイラストや絵はアートプログラムでのメンバーの力作です。「田口せんせはなんでもええやん」と言っていて、就労への背中を押してくれないのはおかしいと批判するメンバーもいますが、医師批判は成長の大きな成果とっております。悪気を奮って一度デイケアをのぞかれることを心からお勧めします。



～精神科デイケアはこんなところです～

精神的に生きづらさを抱える方が、単に病状から回復するだけでなく、人生に新しい意味と目的を見出せるようサポートします。様々な活動や人との交流を通じて、自分が抱えている問題と上手に付き合う方法を考えるお手伝いをしています。今より少しでも生活がしやすくなることを目指しています。

詳しい情報は
ホームページから！

